

TAKE
FREE

クラシック音楽メディアのポータルサイト

レコード芸術 The Record Geijutsu ONLINE

FREE MAGAZINE
202606



Pierre Boulez
(1925 ~ 2016)

CONTENTS

- 02 【新譜月評】2026年5月の特選タイトル一覧＋批評抜粋
- 06 【記事一覧】2026年4月21日～5月20日更新の記事一覧
- 07 【厳選！】編集部おすすめコンテンツ

★レコード芸術 ONLINE はこちらから→



制作：「レコード芸術 ONLINE」編集部

特別企画「いま聴くべき演奏家2026」展開中♪

レコード芸術 ONLINE、フリーマガジン第 10 号です。 掲載記事 2,900 本*突破！ ぜひ有料会員登録をご検討ください♪

音楽之友社が運営するポータルサイト『レコード芸術 ONLINE』編集部フリーマガジンです。今号には、2026 年 5 月の [新譜月評] 特選タイトル一覧 + 批評抜粋、直近 1 ヶ月の記事一覧、編集部のおすすめコンテンツを収録しました。

本サイトは月額 1,100 円 (税込)。無料コンテンツも続々。クラシック音楽メディアの芸術史を未来へつなげる批評の場、そして現在を記録・発信する情報の場として、日々更新を続けています。

* 2024 年 10 月からの累計。新譜月評のディスクページを含む。2026 年 5 月 20 日現在

「レコード芸術 ONLINE」編集部

契約から最初 2 ヶ月間が 100% OFF となる「年間契約プラン」を開始しました。
詳細は右側の QR コードから♪

レコード芸術 ONLINE はこちらから♪

← 有料会員お申込みページはこちらから♪



<https://recogei.ontomo-mag.com/>



<https://recogei.ontomo-mag.com/order/>

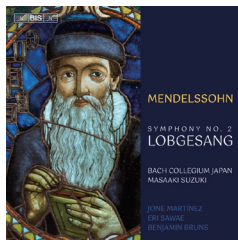
【レコード芸術 ONLINE 新譜月評】 2026 年 5 月の特選タイトル一覧 + 批評抜粋

特選 = ダブル評を行ったもので、2 名とも「推薦」評価 / 筆者は敬称略、五十音順 / 特記のないものは通常 CD です



それぞれの批評全文 + 他の音源については、
有料会員限定コンテンツとして
「レコード芸術 ONLINE」上でお読みいただけます♪
https://recogei.ontomo-mag.com/disc_review/backnumber/202605/

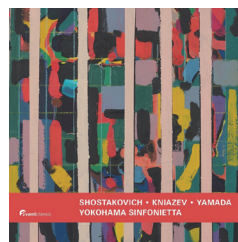
●オーケストラ曲



メンデルスゾーン：交響曲第 2 番《讃歌》

鈴木雅明指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン、
ジョネ・マルティネス、澤江衣里 (S) ベンヤミン・ブルンス (T)
[BIS (D) NYCX10579] SACD ハイブリッド

♪ 管弦楽の編成は小さく、バロック・アンサンブルという感じ。響きは小ぶり、コンパクトかつ敏捷である。内声部等、パートの細部がよく聞き取れ、普段よりも…… (城所)
♪ バッハの演奏がもちろん素晴らしいのは百も承知の上で […] 「バッハ以外」の作品を取り上げた時の鈴木 & バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ) のコンビは […] この上なく面白い…… (小宮)



ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第 1 番、同第 2 番

アレクサンドル・クニャーゼフ (vc) 山田和樹指揮 横浜シンフォニエッタ
[アヴァンティ・クラシック (D) NYCX10565]

♪ クニャーゼフが演奏で提示する「真実」を、どんな聴き手であっても紛うことなく共有できるはず、という確信 […] たしかにひとつの「真実」の可能性を提供し得ている…… (広瀬)
♪ クニャーゼフが 50 代の時期のライブ録音ということもあり、音には張りがあり、表現に関しても、熱に浮かされたような高揚感とどこまでも深い沈潜に満ちている…… (満津岡)



ホルスト：組曲《惑星》、ボックス：交響詩《ティンタジェル》

アントニオ・パッパーノ指揮 ロンドン交響楽団
[LSO Live (D) LSO0904 (海外盤)] SACD ハイブリッド

♪ 《惑星》は、『スター・ウォーズ』など、多くの映画音楽に影響を与えた […] そういった《惑星》の子孫たちを、古典として消化し、あらためて《惑星》に立ち返ると…… (増田)
♪ 《惑星》のみでも「推薦」に値すると思うが、併録曲のボックス《ティンタジェル》も、実にすばらしい […] コーンウォールの城の名を冠した《ティンタジェル》は…… (満津岡)



**モーツァルト：ピアノ協奏曲第6番，同第8番《リュッツォウ》，同第18番
オルガ・パシチェンコ (fp・指揮) イル・ガルデリーノ
[アルファ (D) NYCX10570]**

♪パシチェンコのソロが通り一遍なところが微塵もなく、非常に雄弁、否、饒舌でさえある […] こうしたソロに、管弦楽も全く怯まずに対話に挑んでいく…… (安田)
♪初期と中期のモーツァルトのピアノ協奏曲を2台の大きく異なる性質の楽器で弾き分けた魅力あふれるディスク […] 古楽器特有の明るい艶やかな音色で、生き活きと…… (鷺野)



**プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番，他
ネマニャ・ラドゥロヴィチ (vn)
サントウ＝マティアス・ロウヴァリ指揮フィルハーモニア管弦楽団，他
[ワーナー・クラシックス (D) WPCS13887] SACD ハイブリッド**

♪協奏曲でのネマニャ・ラドゥロヴィチは、作品をまず歌謡的なものとしてとらえている […] 楽器をよく鳴らした豊かな響きを前面に出し、テンポ・ルバートを多用すると同時に…… (相場)
♪モダニズムとフォークロアを弁証法的に対峙させることなく、緩やかに結合させる。ロシアの土臭さは、モダニズムによって上品に磨かれ、刺々しく響きがちなモダニズムも…… (鈴木)



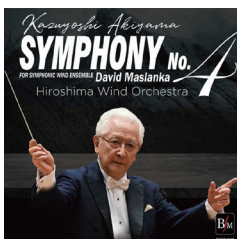
**プッチーニ／管弦楽曲集
ジョン・ウィルソン指揮シンフォニア・オヴ・ロンドン
[シャンドス (D) NYCX10581] SACD ハイブリッド**

♪プッチーニの管弦楽作品はしばしば独立したアルバムになるが […] 多くは、オペラの巨匠の余技、もしくは後の傑作オペラへの習作集のような意味合いが強い。しかし…… (小畑)
♪プッチーニはその大衆性の奥に、近代的な和声のセンスとオーケストレーションの卓抜たる能力を秘めていた。それはドビュッシーにも遜色のないものでさえあった…… (國土)



**ハイドンの世界 Vol.1
ヨハネス・クルンプ指揮ハイデルベルク交響楽団
[Haenssler (D) HC25052 (海外盤)]**

♪オーケストラを用いたハイドンの作品と、同時代の音楽家によるオーケストラ作品を組み合わせた新たなシリーズが、当アルバムを以て始まった…… (小宮)
♪今回の影の主役はアダルベルト・ギーロヴェツ (1763～1850) だろう […] 《オルフェオ》と《ピッコ》が併録された点も歴史的に非常に興味深い…… (安田)



**マスランカ：交響曲第4番，他
秋山和慶指揮 広島ウインドオーケストラ
[ブレーン (D) BOCD7665]**



♪静謐な祈りからグロテスクなダンスまで、森のざわめきから宇宙の鳴動まで、実に多様で幅広い音楽的な語彙が総動員され、その壮大さに圧倒されるが、重要なのは…… (後藤)
♪吹奏楽の大定番曲であると同時に、一般的なレパートリーとしてもっと聴かれるべき名曲。そのような作品を秋山のような管弦楽と吹奏楽の双方に長けた指揮者が演奏すると…… (西村)



**アルヴェーン：祝典序曲，組曲《グスタフ2世》，
ラウタヴァアラ：カントウス・アルクティクス
ネーメ・ヤルヴィ指揮イエテボリ交響楽団
[シャンドス (D) NYCX10571] SACD ハイブリッド**



♪その名が日本の好楽家に広く認知されるようになったのは […] イエテボリ響の首席指揮者に就任してから […] 当盤は、その20周年を記念した演奏会のライヴ録音…… (満津岡)
♪世紀の録音魔というべきほどに膨大なアルバムを残してきたネーメ・ヤルヴィ、その最新盤である北欧作品集も、エネルギーでありつつ澄んだ美しさもあってぐっと来る…… (山野)

●室内楽／器楽曲



	<p>ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第7番《ラズモフスキー第1番》、 同第8番《ラズモフスキー第2番》 キアロスクーロ四重奏団 [BIS (D) NYCX10582] SACD ハイブリッド</p> <p>♪「キアロスクーロ」とは、イタリア語で光と影による「明暗」[...] 同質性や一体性の中にデリケートに浮かび上がる、微妙な差異へも目と耳を向けている…… (石原立)</p> <p>♪同団にはひとつ大きな変化があった [...] 4人全員が女性になった。それがためかどうかは分からないが、今回「物語る」性格がひじょうに濃くなっている。とって…… (船木)</p>
	<p>コンセールによるゴルトベルク変奏曲 ジュゴンボーイズ [根本卓也 (2段鍵盤チェンバロ), 山本徹 (5弦チェロ)] 本村睦幸 (bfl) [ワオンレコード (D) WAONCD620]</p> <p>♪3人で《ゴルトベルク変奏曲》を演奏している。リコーダーは各種管の6本の持替え、チェロは5弦、チェンバロは2段鍵盤フレンチ・タイプ。根本は編曲も担当…… (那須田)</p> <p>♪リコーダーの名手、本村睦幸をゲストに迎えた前作 [...] などで、高い問題意識と新しい視点によるアルバムを発表してきた彼らが本村と再び取り組んだのは…… [西村]</p>

●鍵盤曲

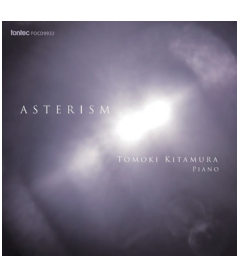
	<p>ベートーヴェン／最後の3つのソナタ イモーゲン・クーパー (p) [シャンドス (D) NYCX10573]</p> <p>♪今回のベートーヴェンのソナタのCDは意外にも初アルバム [...] この3曲の中に自らの長年に培ってきた深い音楽体験を投影したかったのかもしれない…… (草野)</p> <p>♪このベートーヴェンが彼女の最後のアルバムとなるのだろうか。だが仮にそうなたとして、惜しまれると同時に納得されましょう。有終の美というに十分ふさわしい演奏…… (新野見)</p>
	<p>リスト：12の大練習曲 アウレリア・ヴィショヴァン (p) [パッサカユ (D) TPAS1151]</p> <p>♪のちの傑作へと改訂される過程としてのみ扱われがちなの曲集を、それ自体でリストの完成された作品として捉える視点はこれまでほとんどなかったように思う…… (新野見)</p> <p>♪この大きな山に真っ向から対峙して、果敢に挑んでいる。演奏だけ聴いてもこれは大変な曲だ、ということがよくわかるが、楽譜を見ながら聴くと…… (鷲野)</p>
	<p>スクリャービン／作品集 イリーナ・メジャーエワ (p) [ビジンクラシカル (D) BJN1042]</p> <p>♪今回メジャーエワが挑んだのはオール・スクリャービン・プログラム [...] あらゆる時期の作品を収めている。語法の変遷をたどるように対峙したことが窺える内容だ…… (長井)</p> <p>♪実に目配りが聴いている [...] 聴き手は作品の姿をきわめてクリアに見定めることができるだろう。スクリャービンの音楽は複雑であれど、けっして模糊としたものでは…… (新野見)</p>
	<p>ベルク：ピアノ・ソナタ, シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番 D960 ファジル・サイ (p) [エラート (D) WPCS13888] SACD ハイブリッド</p> <p>♪作曲家としても旺盛な創作を続ける近年のサイは、演奏家としても一層の成熟と内省の深まりが指摘されている。本盤はその到達点のひとつとして位置づけられるだろう…… (飯田)</p> <p>♪シューベルトと新ウィーン楽派との組み合わせはもはや定番。またかとなりかねない。ただサイという強烈な個性のピアニストの手にかかるとどのように料理されるか…… (喜多尾)</p>

	<p>Schumann 矢野雄太 (p) [MClassics (D) MYCL00073]</p> <p>♪ その華やかなキャリアからすれば、デビュー盤にシューマンの極めて親密な小品群を選んだことは、いかにも心憎い […] 特筆すべきは《暁の歌》だ。静謐な第1曲は…… (飯田) ♪ 1830年代後半のクララとの恋愛の最中の曲や晩年の《暁の歌》を弾いているが、柔らかなタッチで楽器から豊かな響きの滋味あふれる音楽を引き出してとても聴かせる…… (那須田)</p>
	<p>バッハ讃 Vol.2 ~ J.S. バッハ / 中期のオルガン作品 廣江理枝 (org) [アルトウス (D) ALT550]</p> <p>♪ 幻想曲や前奏曲とフーガやオルガン・コラールの名作など9曲が収録され、バッハが好んだと言われるやわらかなサウンドのすばらしい演奏を聴かせている…… (那須田) ♪ 畏怖を覚えざるをえない、紛うことのない傑作群が、バッハその人が助言を惜しまなかったというヒルデブラントのオルガンを現代に再構築した楽器で奏でられている…… (美山)</p>

●音楽史

	<p>友人たちと クララ・ブレッシング・アンサンブル [パッサカイユ (D) TPAS1163]</p> <p>♪ バロックの響きの理念や古楽の演奏習慣の基本を押さえたオーソドックスな演奏によるバロックの室内楽集である。まず、アルバムのコンセプトが興味深い…… (那須田) ♪ 国を越える友人たちの互いを尊重しながら最善の一致点を探る姿をイメージさせる。18世紀の私的音楽会が、今の世界に響くメッセージを伝えてくる…… (矢澤)</p>
	<p>メランコリー・グレイス ジャン・ロンドー (cemb, ポリゴナル・ヴァージナル) [エラート (D) WPCS28515] SACD ハイブリッド</p> <p>♪ 演奏者はメランコリーを、16～17世紀には一般的であった四気質のひとつであった憂鬱質をふまえ、感情のゆたかさ、繊細さ、幅の広がりと捉える…… (美山) ♪ 録音年と月を見て、心がざわつかない人はいないだろう。コロナ禍が猖獗を極めた時期の録音 […] ロンドーがああ災厄の世界とアルバムに何のリンクも感じなかったとは思えない…… (矢澤)</p>

●現代曲 / ポスト・クラシカル

	<p>アステリズム 北村朋幹 (p) 井上道義指揮 札幌交響楽団, 他 [フォンテック (D) FOCD9932] SACD ハイブリッド</p> <p>♪ 硬質に閃くピアノの響きが、何億光年と離れた宇宙の彼方から届く星のイメージに重なる。このアルバムのテーマは夜空の星である。考え抜かれた打鍵から生まれた音は…… (白石) ♪ リスト […] に取り組む一方で、近現代作品に手を広げている北村の現在がよく分かる […] 低調に終わりそうな武満イヤーの、最大の成果になるかも知れない…… (長木)</p>
---	---

※今月は「オペラ / 声楽曲」の特選作品はございません

[2026 年月の新譜月評執筆一覧] ※敬称略、五十音順

相場ひろ 飯田有抄 石原立教 石原勇太郎 小畑恒夫 岸純信 喜多尾道冬 城所孝吉 草野次郎 河野典子
 国土潤一 後藤洋 小宮正安 小室敬幸 白石美雪 鈴木淳史 長木誠司 長井進之介 那須田務 新野見卓也
 西村祐 沼野雄司 野平多美 広瀬大介 布施砂彦 船木篤也 増田良介 満津岡信育 松平敬 水谷彰良
 美山良夫 八木宏之 矢澤孝樹 安田和信 谷戸基岩 山崎浩太郎 山野雄大 山之内正 芳岡正樹 鷺野彰子

【レコード芸術 ONLINE】 2026年4月21日～5月20日更新の記事一覧

※有料会員限定コンテンツを含みます

【お知らせ】

- ・【2026年5月リリース予定】クラシック音楽新譜 発売情報
- ・マイケル・ティルソン・トーマス 逝く
- ・ギュンター・ピヒラー 逝く
- ・フリーマガジン第9号配布開始！

【ニュース】

- ・2026年春の叙勲・褒章にて パーヴォ・ヤルヴィ氏が旭日中綬章を受章！
- ・2026年春の叙勲・褒章にて 片山杜秀氏が紫綬褒章を受章！
- ・クラシック音楽 海外盤リリース情報（2026年5月）
- ・東京文化会館 いよいよ長期休館へ
- ・クラシック音楽も無関係ではない？「レコード演奏・伝達権」を創設する法律案が閣議決定

【2026年4月新譜月評】

- ・音楽史、現代曲／ポスト・クラシカル、その他

【2026年5月新譜月評】

- ・オーケストラ曲、室内楽／器楽曲、鍵盤曲、オペラ／声楽曲

【最新盤レビュー】

- ・パーヴォ＝DKAMのシューベルト全交響曲録音第2弾は、対照的な5番と6番《小ハ長調》！ | 沼口隆
- ・クラシック リイシュー & BOX 注目盤（4月） | 編集部
- ・川口成彦の「心の旅」～3台のフォルテピアノで綴る、ベートーヴェンへの私的オマージュ | 青澤隆明

【インタビュー】

- ・クラリネット奏者ニコラ・バルディルーは、モーツァルトの全集録音プロジェクトでどんな楽器を使っている？ | 西村祐

【レポート】

- ・阪田知樹 記者懇親会 2026年のいま想うフランス・リストそして演奏史・作曲史のなかの「私」 | 編集部
- ・パーヴォ・ヤルヴィ & ドイツ・カンマーフィル「シューベルト交響曲全集」録音レポート | 中村真人

【モノラル録音期のベートーヴェン】

- ・たまには居心地の悪い椅子に座ってみるものだ：往年の演奏に求めるもの | 諸井誠
- ・モノラル期のベートーヴェン交響曲全集 | 山崎浩太郎
- ・必聴！巨匠指揮者で辿る モノラル～ステレオ初期のベートーヴェン名録音アラカルト | 増田良介、吉田真

【いま聴くべき演奏家 2026】

- ・伝統は響き合う：いま聴くべき“旬”のピアニストたち | 飯田有抄
- ・クラシック音楽でいま聴くべき弦楽器の室内楽グループ & 器楽奏者 | 芳岡正樹

【特別寄稿】

- ・《指環》初演150周年に現れた ルイージ&ダラス響の全曲録音を聴く | 広瀬大介
- ・シンギング・ラヴェル！ 前編・後編 | 一色香織

【特別企画】

- ・音楽家そして画家！ 両分野に足跡を残す西洋の芸術家と そのディスク10選 | 編集部

【連載】

- ・女性作曲家に魅せられて 第5回 メル・ボニスに魅せられて生涯・作品編 & 録音編 | 小林緑、谷戸基岩
- ・音符の向こう側 第19回 似ているが似ていない(?) 双子の交響詩 | 城所孝吉
- ・トーキョー・モデュレーション 第19回 もうひとりのアダムズが、もうひとつのアメリカを描く | 沼野雄司
- ・名演奏家再批評 File04 かくして私はホルヴィッツに熱中した④ | 長井進之介
- ・名演奏家再批評 File05 ピエール・ブレーズ礼讃①～② | 八木宏之

【レコ芸アーカイブ】

- ・『レコード芸術』新譜月評クロニクル 第2回 1975年（中篇）5月号～8月号 | 芳岡正樹
- ・名演奏のディスコロジー 第5回（1976年5月号）マウリツィオ・ポリーニ | 柴田南雄
- ・名曲名盤300/500 総集篇 Vol.1 ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》& 交響曲第6番《田園》 | 編集部
- ・名曲名盤300/500 総集篇 Vol.2 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 & ヴァイオリン協奏曲 | 編集部

【厳選！】編集部おすすめコンテンツ

[レポート]

パーヴォ・ヤルヴィ&ドイツ・カンマーフィル 「シューベルト交響曲全集」録音レポート

文：中村真人（音楽ライター）

投稿日：2026.05.16

無料コンテンツ



ここから読めます♪

[このディスクが登場します]

『シューベルト：交響曲第8（7）番《未完成》、同第4番《悲劇的》』

パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメン（DKAM）

〈録音：2025年5月〉[RCA（D）SICC10489] SACD ハイブリッド

この変化の激しい時代にあって、パーヴォ・ヤルヴィとドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメンは、20年以上もの芸術的パートナーシップを継続し、数多の名録音を世に送り出してきました。そんな彼らが現在取り組んでいるのが、シューベルトの交響曲の全曲録音。

4月末、ベルリンのテルデックス・スタジオで行なわれた交響曲第1番のレコーディングセッションを訪ね、現場を支える2人のプロに話をうかがいました。

[インタビュー]

クラリネット奏者ニコラ・バルディルーは、 モーツァルトの全集録音プロジェクトで どんな楽器を使っている？

ききて・文：西村祐（フルート奏者・音楽評論）

投稿日：2026.05.04

無料コンテンツ



ここから読めます♪

[このディスクが登場します]

『モーツァルト／ピリオド楽器によるクラリネット作品全集 Vol.2』

ニコラ・バルディルー（cl, バセット cl）

ミヒャエル・アレクサンダー・ヴィレンズ指揮ケルン・アカデミー，他

〈録音：2025年2月〉[アルファ（D）NYCX10588] CD

フランスのクラリネット奏者、ニコラ・バルディルーが進めるピリオド楽器によるモーツァルトのクラリネット作品全集プロジェクト、その第2弾となるアルバムがリリースされました。

管楽器4本とオーケストラのための《協奏交響曲》は当時のパリで使われた楽器を忠実に再現しての初録音で、最晩年の名作《クラリネット協奏曲》のバセット・クラリネットを使った演奏との注目のカップリングです。今回は使用楽器のを中心にお話をうかがいました。

[特別企画 いま聴くべき演奏家 2026]

伝統は響き合う いま聴くべき“旬”のピアニストたち

文：飯田有抄（音楽ファシリテーター）

投稿日：2026.05.14

有料会員限定コンテンツ

[このディスクが登場します]

『フィールド／ノクターン全集』

アリス＝紗良・オット (p)

〈録音：2024年9月～10月〉 [グラモフォン (D) UCCG45114] CD



ここから読めます♪

いま聴くべき“旬”の演奏家の第一弾「鍵盤楽器奏者篇」は、ひとつの試みとして、新譜月評でもおなじみの飯田有抄氏に、5人の注目ピアニストを、往年の名匠たちからの「伝統の継承」という点も踏まえてご紹介いただきます。

直接的な師弟関係、ということではなく、最前線の演奏家たちの内面からしみ出てくる過去との繋がりについて考察していきます。

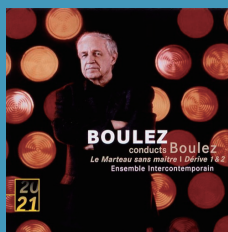
[連載]

名演奏家再批評 File05 ピエール・ブーレーズ礼讃①

文：八木宏之（音楽評論）

投稿日：2026.05.08

無料コンテンツ（2回目以降は有料会員限定コンテンツ）



ここから読めます♪
(1回目)

[このディスクが登場します]

『ブーレーズ：主人なき小槌，デリヴ（漂流）第1番，同第2番』

ヒラリー・サマーズ (Ms)

ピエール・ブーレーズ指揮アンサンブル・アンテルコンタンポラン，他

〈録音：2002年9月〉 [グラモフォン (D) UCCS50395] CD

金曜連載「名演奏家再批評」第5弾。レコード芸術 ONLINE の新譜月評担当筆者で Web メディア『FREUDE』主宰、音楽評論分野で活躍中の八木宏之さんが、自分の人生に大きな影響を与えたという、ピエール・ブーレーズについて再批評していきます。全4回のうち、1回目は無料公開、2回目以降は有料公開です。

レコード芸術 ONLINE に広告を出してみませんか？

様々なプランをご用意しています。まずはお問合せください♪

お問合せ先：

(株) 音楽之友社「レコード芸術 ONLINE」編集部

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂 6-30 / E-mail: reco_online@ongakunotomo.co.jp

【レコード芸術 ONLINE 公式 SNS のご案内】

記事の更新情報などを発信しています♪

また、お読みになったご感想を、#レコード芸術 ONLINE を添えてぜひご投稿ください。

